
class sex (リライト)

れつだん先生

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

class sex (リライト)

【Nコード】

N1888H

【作者名】

れつだん先生

【あらすじ】

書いた本人もよくわかりませんが、ドタバタしています。何にも考えず単純に読めると思います。

「山田シヨウコとセックスしたい！」

期末テスト中という、学生にとつて自分の全てだと言つても過言ではないその時、しんと静まり返る教室に声が響いた。黒板の前で椅子にふんぞり返り、うとうととする教師が、突然の声に跳ね起きてきよるきよると辺りを見渡した。生徒たちの気持ちは完全にテストから離れ、声の主が気になって仕方なくなつたようだが、少しでも首を動かしてしまうとカンニングと間違えられてしまう。堪えながらテストに集中しようとも、その声が気になつて仕方が無い……。

その時、また声が響いた。それも一回だけではなく、何度も。遂に痺れを切らした教師が教室をうろつく。しかし、そんなことお構いなしと言いたげに、その声が止むことは無い。当の山田シヨウコはこのクラスの女子生徒である。山田シヨウコは、そんな声に気にもとめずテスト用紙をライターで燃やし、それを使い煙草に火をつけようとしている最中だった。真剣な眼差し。声が耳に入る筈が無かつた。テストを真剣に受けているのは暮らすの三分の一といった所だろうか。残りの過半数は、生徒同士の干渉は無く静かにしているものの、読書をする者、ゲームをする者、煙草を吸う者、タロットカードをいじくる者、下半身をいじくる者、携帯をいじくる者、昼飯を食らう者、という、正に何でもありの無法地帯。それがかの有名な3年B組(3B)だった。その間も声が止むことはない。にらみを聞かせながら歩いていた教師が、ふとある男子生徒の目の前で足を止めた。男子生徒は机にうな垂れ、小さないびきをかいている。胸のポケットに入れてある携帯から、「山田シヨウコとセックスしたい！」という声が聞こえた。一時流行つた着ボイス、というものだろうか。いびきをかく生徒を見下しながら、教師がポケットから煙草を取り出し、火をつけた。そしてその燃える煙草を、男子生徒の頭に置いた。短く整つた髪の毛がちりちりと音を立てて少

しずつ燃えていく。教室に異臭が漂った。田中義久はその臭いに顔をしかめ、車田和夫はうつとりた表情でその臭いを吸い込み、原田久恵はあまりの悪臭に排泄物を机にぶちまけた。必死に解いていたテスト用紙がぐちゃぐちゃに汚れ、原田久恵は静かに泣いた。頭が焼け野原になり、皮膚を燃やしているにも関わらず、男子生徒が起きる気配は無い。教師は一旦教卓へと戻り、教卓に置いてあったガラスのコップを手に取った。そして足元に置いてあるポリタンクからガソリンをコップに流し込む。それを口に含むと、口の前にくるようにライターを手に持った。そして男子生徒の元へと行き、ライターの火に向かってガソリンを噴射した。男子生徒の全身が、あつという間に燃えていく。

燃えさかり無様な死を遂げた男子生徒の最後の言葉は、「燃えるほど熱い恋！ 激しすぎるぜ山田シヨウコ！」であった。

男子生徒を包む炎に煙草を近づけ、一息ついた後、テスト中だというのに早退した山田シヨウコは、途中でバラの花束を買い、燃え死んだ男子生徒の家へと向かった。しかし住所がわからないので諦め、そのまま家路についた。山田シヨウコの話はそこで絶っている。

その頃教室では、テストを一旦中断し、『燃えさかる人』というタイトルの絵を書いていた。所謂美術の時間というものだろうか。「男子生徒が灰になって絶命するまであと数時間といった所だろうか。それまでに書き上げたものには、山田シヨウコ・セックスフリーパス券というものが貰えるんだ」と教師が言った。それまで自分勝手にしていた生徒たちが大きな声援を上げ、一丸となって絵を仕上げる。3Bが始めて一つになった。しかし田所美里だけは「下品だわ」と呟き、家に帰った。そう、今日はジャニーズのコンサートがある日なのだ。

燃えさかる男子生徒は、もう起き上がることすら出来ないはずであるが、よろよるとゆっくり立ち上がり、

「俺、もうちょっと生きていたかったな……」

と眩き、しばらくして絶命した。書き上げた者がいなかったため、教師自身が券を握り締め、山田シヨウコの家へと走っていった。教師は走った。どこまでも。世界の果てまでも。山田シヨウコの元へ向かって……。

お前ならできるはずだ。選ばれし者よ。走り続ける。決して後ろを振り向くんじやない。

走れ！ 教師！

どこまでも！

終

(後書き)

ありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1888h/>

class sex (リライト)

2011年1月26日02時28分発行